

ダン プ 労働者

第033号

2019年 8月31日発行 全日本建設交通一般労働組合（建交労）東海ダンブ支部 発行責任者 野川 正一
〒424-0038 静岡県静岡市清水区西久保 30の2 電話・FAX 兼用：054-366-8318 Eメール：tukai-dump@cy.tnc.ne.jp



【7月26日 国交省中部地方整備局要請】



【7月26日 愛知県庁への要請】



【7月16日 岐阜県庁への要請】



【7月29日 静岡県庁への要請】

◆8月20日三重県庁
主な回答の要旨は次のとおり。
ダンブの基礎知識と使用促進について、出先事務所の担当者の統括会議で周知している。使用促進については、「12条団体等」など、業者対応指導のQ&Aを作成中。
ダンブの直接工事費は

組合試算の約5万3千円で問題ない。五輪建設工事の残土処理問題を受けて、令和2年度施行の予定で、実効性のある三重県残土条例を作成中。
適正単価について時間をかけて論議し、税金の一部がピンハネでどこかに消えるのはおかしいと強く訴えました。

8月20日に三重県庁へダンブキャラバン要請行動を実施 21日に岐阜県と公契約条例懇談・新県庁建設工事の要請

◆8月21日岐阜県庁
公契約条例について、担当課の労働雇用課の課長補佐と懇談し、条例制定の経緯や課題について詳しく聞き取りを実施。



【8月20日撮影・三重県庁舎】

静岡県と三重県での公契約条例制定の運動に役立つ方針です。
また、組合の使用促進の協議申し入れを無視している岐阜県新県庁建設工事の元請・前田建設工業への使用促進の指導を県庁建設課と技術検査課に要請しました。



【岐阜県庁建設現場・旧県庁駐車場】

◆キャラバンのまとめ
①キャラバン要請行動へのべ7人の仲間が参加して、現場の実態を告発。
②ダンブの基礎知識や使用促進について、今までの指導徹底から一歩進めて、国交省では各事務所の副所長への通知から元請に直接指導する担当者会議の議題にして、徹底するなどの回答を引き出しています。同様に各県でも現場担当者への徹底を確約しています。
③適正単価について長時間議論し、業者への指導方法が課題となりますが、東海4県の平均で約5万4千円の直接工事費が適正単価であるとの見解を得ています。

加入と脱退1人ずつで、8月末では118人の支部人数に 9月は秋の拡大月間に向けて、拡大対象者の掘り起こしを

8月に加入1人・脱退1人で、8月末時点で東海ダンブ支部は118人の組織となっています。

春の拡大月間終了時の4月末に114人となっていました。紹介活動による拡大が進み、大会

時の今年1月の現勢120人まで、もう一步の所まで回復しました。
秋の拡大月間が10月からスタートしますので、9月は拡大パンフレットをリニューアルし、次号の支部ニュースに同封する予定です。

拡大には、皆さんの協力が欠かせませんので、12月までに120人を突破できるよう、組合に入っていない仲間や友人への声掛け、拡大対象者の掘り起こしへの協力をお願いいたします。

8月は昨年同様の猛暑の夏が復活しました。7月の雨で放置していた組合事務所の雑草が元気に伸び放題になっていたの、お盆前に2日間かけて、水やスゴッドリクと梅干を準備して、草刈りを行ったのですが、作業2日目に頭がクラクラして、立つことができなくなり、このままだとヤバイと判断し、事務所のエアコンが壊れて温風しか出ないこともあり、乗用車に乗り込んで、エアコンを全開。しばらく外に出られないという事態に遭いました。先月号のニュースで「熱中症にご注意を」と警告した本人がこのザマです。反省をする次第です。8月中旬は扇風機のみで、これ以上耐えきれないという時に乗用車のエアコンで体温を下げていましたので、仕事にならず難儀を強いられました。組合事務所の壊れたエアコンを中古品を探して設置できるように、次年度に予算化したいと考えています。朝晩は少しは過ごしやすくなりましたが、日中は30〜35度の猛暑が続きますから、くれぐれも熱中症にはご注意ください。死んじやいます。本当に。



ダンブ・大工・電気工・防水工・内装・重機など一人親方等の労働組合

建交労東海ダンブです



建交労 東海ダンブ支部

お問い合わせ先：〒424-0038 静岡県静岡市清水区西久保 30-2

☎ 054-366-8318

Eメール：tukai-dump@cy.tnc.ne.jp

浜岡アスコン分会・合材トン50円UPと材料単価引上げ 9月2日の前田富士分会団体交渉で回答の上積をめざす

◆浜岡アスコン分会

5月の要求提出後、東名と新東名の工事が重なり、多忙となつて団体交渉がなかなか開けずにい



【浜岡アスコン分会の仲間】

た所、プラント側から合材トン50円と材料単価の引き上げの回答提案があり、9月24日の団交で上積み要求で闘う方針。



【東部地域職場分会の仲間】

◆リサイクル芝川分会

7月22日にNIPP O中部支店の合材部長と子会社社長(工場長)と芝川プラントで交渉しましたが、合材トン120円アップの回答のまま。ただし、今後の燃料価格の動向をみて、継続協議としました。

◆前田富士分会

合材トン40円の回答では少なすぎるとしてNIPP Oと同様の3桁の単価改善と労災保険の半額補助要求を崩さずに、9月2日に3回目の団体交渉に臨み、さらなる回答の上積をめざしています。

8月上旬の静岡・富士税務署による税務調査に対応中 売上先や請求書・通帳の点検など売上高の調査が重点に

▼静岡税務署

7月に組合員から税務調査の相談が寄せられ、すぐに対応しなくても良いことを知らせ、8月上旬の調査日に、約1か月の間に数度面談して、調査の準備を整



【静岡税務署】

えて、税務調査当日に高橋書記長が同席。税務署側は売上高の通帳を念入りに調べ、請求書・帳簿を持ち帰り、精査すると、当日は終了。8月下旬に静岡税務署



【富士税務署】

で精査結果が提示され、売上高の若干の不備を指摘され、修正申告に。

▼富士税務署

同時期に税務調査の相談が組合員より寄せられ、8月お盆前の調査となりました。

静岡税務署と同様に、売上高を中心に聞き取りをして、やはり通帳を念入りに調査。富士税務署での精査結果提示は9月上旬とのこと。
2つの税務調査で明らかなのは、売上先や請求の仕方、売上高を中心に調べており、調査が消費税狙いであることです。

【今年3月の税金相談会】



1月から8月までの売上高の点検で 消費税課税業者の判断と仕事調整を

静岡県内の税務調査においても、税務署は売上高を細かく点検し、所得税よりも消費税狙いであることが明らかになっています。

消費税課税業者となる売上高1千万円問題は古くて新しい問題で、課税業者とならないために、どこで売上高の防衛ラインを引くか頭を悩ます所です。

10月から消費税率が10%となることがほぼ確定している中、請求段階で8%から10%に消費税分を計算することを考慮すれば、売上高1070万円超過が見込めれば、頑張つて仕事をした方が得策と言えます。

点検方法として、職種にもよりますが、一般的に今年1月から8月までの売上高を点検して、すでに650万円を超過しているようでしたら、仕事の調整をせずに、思い切って仕事をするをお勧めします。

600~650万円であれば、仕事が忙しくなるまでの9月~10月で、仕事の調整を数日間して、売上を1千万円未満にすることを勧めます。

今まで税金相談の中で、この点検と調整をせずに、消費税課税業者となつてしまい、痛い目にあつた方が少なくないので、自己防衛のためと思つて、まずは売上高の点検をしてみましょう。

8月24日国交労組東海建設支部大会に参加 支部大会に毎年参加の青山さんが委員長に

国交省の職員で結成している国交省労働組合東海建設支部の第62回定期



【1月の支部大会であいさつする青山さん】

大会が8月24日に名古屋で開催され、来ひんとして高橋書記長が参加。



【8月24日に新委員長に就任した青山さん】

発注者の労働組合と現場の最末端で働く一人親方の労働組合の交流を深め、実際に元請や下請への指導を行う職員の方にダンブの要求を理解してもらふこと、反対に国交省の職員の要求についても私たちが理解することが互いの要求前進に非常に重要であることから、今後も交流・共闘を継続していきます。
毎年の大会に参加いただき、ドンチャン騒ぎと大会に最後まで参加いただいている青山さんが、この大会で新執行委員長に選出されました。

各県協議会の日程

◆愛知県協議会幹事会

9月29日(日) 9時

会場は二本木公民館

◆静岡県協議会幹事会

10月6日(日) 8時

会場は組合事務所

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆